

2023(令和5)年度 寄付講座開講一覧

科目区分	科目名	単位数	寄附組織名
共通科目群キャリア科目	グローバル・キャリア	2	沖縄ヒューマンキャピタル
共通科目群キャリア科目	ワーカーズコープ論	2	
法律学科専門選択科目	租税実務論	2	沖縄税理士会
経済学科/地域環境政策学科専門選択科目	沖縄の金融事情(沖縄の経済事情Ⅰ)	2	沖縄県内各種金融機関
地域環境政策学科専門選択科目	政策金融論	2	沖縄振興開発金融公庫
産業情報学科専門選択科目	沖縄の航空事業と地域振興	2	日本トランスオーシャン航空株式会社
社会文化学科専門選択科目	沖縄ジャーナリズム論	2	沖縄タイムス社

※授業科目の目的や具体的な内容等は、下記のとおりシラバスで参照できます。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	グローバル・キャリア	集中	集中	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	グローバル・キャリア教員	1年	村上了太（内線：5629）またはmurakamiあつとokiu.ac.jpまで連絡すること。	

学びの準備	ねらい 大学生生活を充実するために、 ①海外留学 ②海外インターン などを体験したい／知りたいと思っている学生を主たる対象としています。	メッセージ ①前期開催予定のオリエンテーションを受講した学生のみ履修を認めます。掲示板で確認してください。やむを得ず欠席する場合は、問い合わせ先に記載された教員まで連絡してください。なお、登録が削除されても代替科目の履修を提供することはありません。 ②社会人講師にも登壇して頂きます。多様な価値観を吸収するのみならず、様々な質問も投げかけてみてください。
	到達目標 ①卒業後の進路について主体的に考えることができる。 ②学生生活の様々な経験を「有意義である」と説明できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	産官学のキャリア形成から学んだこと	産官学の仕事について調べる
	2	生きる力（1） ー人生と仕事ー	人材に関する『論語』等を読書する
3	海外キャリア形成 ーグローバル人材とは何か？ー	グローバル人材について調べる	
4	海外キャリア形成 ー沖縄と台湾での起業ー	海外起業家について調べる	
5	生きる力（2） ー人生と仕事ー	稲盛和夫『生き方』を読書する	
6	グローバル企業のアナリストから見た沖縄経済	沖縄経済を知る	
7	グローバルキャリアとローカルキャリア ーグローバルキャリアをローカルに活かすー	グローバルキャリアについて調べる	
8	国際環境の変化とグローバル人材育成	国際的な問題について調べる	
9	海外留学のすすめ	留学や奨学金について調べる	
10	海外キャリア形成 ーアジアで就職した先輩の事例紹介ー	海外就職について調べる	
11	目標の設定と自己成長 ー英国大学院留学と外資系企業勤務ー	自分の目標を記してみる	
12	より良い仕事、よりよい人生とは？ー沖縄和の課題と未来ー	沖縄県の課題について調べる	
13	キャリア形成に必要なコミュニケーション能力	コミュニケーション力を理解する	
14	キャリア形成に活かすセルフブランディング	セルフブランディングを理解する	
15	振り返りおよびグループ学習・発表	自分の目標と行動計画を作成する	
16	予備日		
	テキスト・参考文献・資料など 講義中に指示する。		
	学びの手立て ①履修の心構え 予習と復習に取り組む必要がある。 ②学びを深めるために 大学とは「知考書」のプロセスを理解して鍛錬する場でもある。ゆえに、1) ノートにメモをとる、2) 各回の講義の意味を考える、3) 将来像を設計し、機会に応じて意思表示する場を設ける、などが必要である。		
	評価 平常点（50点）、試験またはレポート（50点）の割合で評価する、		

学びの継続	次のステージ・関連科目 ジョブインタビュー入門、自己表現入門、キャリア・デザイン、心理学Ⅰ、心理学Ⅱ、インターンシップ（正課および正課外）、海外留学、キャリア支援課の利活用など
-------	---

※ポリシーとの関連性

「社会人として自立するために必要な広範かつ基本的な知識・技能」を教授する。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ワーカーズコープ論	集中	集中講義	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ワーカーズコープ論教員	1年	村上 了太(内線:5629)またはmurakamiあつとoku.ac.jpまで連絡すること。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義は、現在と将来を考えるために設置された。たとえば、「学生として、今何をすべきか分からない」、「進路を考えると不安になる」、「大学生活はこんなはずではなかった」などと感じて日々過ごしている学生も少なくない。このような不安や不満は、本講義で示唆される「一歩前へ踏み出す力」を涵養することで解消される。</p> <p>到達目標</p> <p>①卒業後の進路について主体的に考えることができる。 ②学生生活の様々な経験を「有意義である」と説明できるようになる。 ③「働くとは？」という考えに対して多角的な視点が生まれてくる。</p>	<p>①社会人講師にも登壇して頂きます。多様な価値観を吸収するのみならず、質問も投げかけてみてください。 ②時間厳守は当然のことです。 ③レポートは講義中に提出期日と課題を指示します。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	オリエンテーション	関連書籍による理解
2	沖縄のワーカーズコープの実践より ケーススタディ①	関連書籍による理解	
3	沖縄のワーカーズコープの実践より ケーススタディ②	関連書籍による理解	
4	沖縄のワーカーズコープの実践より ケーススタディ③	関連書籍による理解	
5	沖縄のワーカーズコープの実践より ケーススタディ④	関連書籍による理解	
6	沖縄のワーカーズコープの実践より ケーススタディ⑤	関連書籍による理解	
7	沖縄のワーカーズコープの実践より ケーススタディ⑥	関連書籍による理解	
8	沖縄のワーカーズコープの実践より ケーススタディ⑦	関連書籍による理解	
9	沖縄のワーカーズコープの実践より ケーススタディ⑧	関連書籍による理解	
10	沖縄のワーカーズコープの実践より ケーススタディ⑨	関連書籍による理解	
11	沖縄のワーカーズコープの実践より ケーススタディ⑩	関連書籍による理解	
12	沖縄のワーカーズコープの実践より ケーススタディ⑪	関連書籍による理解	
13	沖縄のワーカーズコープの実践より ケーススタディ⑫	関連書籍による理解	
14	沖縄のワーカーズコープの実践より ケーススタディ⑬	関連書籍による理解	
15	本講義もまとめ(働くこと、生きること)	関連書籍による理解	
16	予備日		
	テキスト・参考文献・資料など	講義中に指示する。	
	学びの手立て	①履修の心構え 予習と復習に取り組む必要がある。 ②学びを深めるために 大学とは「知考書」のプロセスを理解して鍛錬する場でもある。ゆえに、1)ノートにメモをとる、2)各回の講義の意味を考える、3)将来像を設計し、機会に応じて意思表示する場を設ける、などが必要である。	
	評価	各回の理解度(25点)、提出物(25点)、レポート(50点)の割合で評価する。	

学びの継続	次のステージ・関連科目
	ジョブインタビュー入門、自己表現入門、キャリア・デザイン、インターンシップ(正課および正課外)、海外留学、キャリア支援課の利活用、県内外に存する関連施設の視察など。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	租税実務論	集中	集中講義	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	沖縄税理士会	2年	info@okizei.or.jp	

学びの準備	ねらい 会計及び税法の講義を通じて、学生の税理士及び税理士制度への関心を深め、税理士を目指す者及び税理士事務所等に就職する者の増加を図る。	メッセージ 税金と社会生活には大きな関わりがあります。その税のしくみについて、分かりやすく講義しますので、将来税理士を目指す方や税理士事務所での就職することに興味があるかたは、一緒に学びましょう。
	到達目標 ・日本の財政と税金のしくみについて理解できる。 ・様々な税金について、理解を深めることができる。 ・税理士の職務内容を理解すると共に、税理士事務所での就職する意義について理解できる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	租税実務論 概論	シラバスの確認と理解
	2	所得税	前回の講義についての復習
	3	所得税	前回の講義についての復習
	4	日本の財政と税制	前回の講義についての復習
	5	所得税	前回の講義についての復習
	6	所得税	前回の講義についての復習
	7	広がる税理士ニーズ	前回の講義についての復習
	8	法人税	前回の講義についての復習
9	法人税	前回の講義についての復習	
10	税理士って？資格取得～実務	前回の講義についての復習	
11	消費税	前回の講義についての復習	
12	消費税	前回の講義についての復習	
13	税金の仕組みと歴史	前回の講義についての復習	
14	相続・贈与	前回の講義についての復習	
15	相続・贈与	前回の講義についての復習	
16			
	テキスト・参考文献・資料など ・講師で資料を準備する。		
	学びの手立て ・集中講義で実施するため、毎回の講義には必ず参加すること。やむを得ず欠席する場合には必ず連絡すること。 ・基礎的な税のしくみについて、本やインターネットで調べておくことが望ましい。		
	評価 ・授業態度（30%）とレポート課題（70%）を踏まえ、総合的に評価する。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 ・法律学科の提供科目である「租税法」を履修することが望ましい。 ・学んだ知識を実践の場で活かすために、税理士事務所へのインターンシップを積極的に行ってほしい。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	沖繩の金融事情	後期	水4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	沖繩の経済事情 I 教	1年	yando@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 沖繩県内の金融業界に関する業界研究・業界分析。	メッセージ 金融業界に興味がある学生・就職希望の学生にお勧めします。 履修登録の対象は、全学部1年次以上。定員超過時は抽選。 【実務経験】外部講師(金融系企業の現役社員)が勤務経験に基づき、自社の特徴・具体的業務内容・業界事情等を解説する。
	到達目標 金融業界の動向、金融系企業の業務内容を理解する。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス・銀行業務の基礎知識	基礎知識を理解する
	2	銀行1	新聞等を読む。会社を調査。
	3	金融業界の基礎知識	基礎知識を理解する
	4	損害保険会社1	新聞等を読む。会社を調査。
	5	銀行2	新聞等を読む。会社を調査。
	6	銀行3	新聞等を読む。会社を調査。
	7	銀行系研究所	新聞等を読む。会社を調査。
	8	銀行4	新聞等を読む。会社を調査。
9	証券会社・中間レポート提出	新聞等を読む。会社を調査。	
10	保証会社	新聞等を読む。会社を調査。	
11	損害保険会社2	新聞等を読む。会社を調査。	
12	リース会社	新聞等を読む。会社を調査。	
13	銀行5	新聞等を読む。会社を調査。	
14	損害保険会社3	新聞等を読む。会社を調査。	
15	銀行系カード会社	新聞等を読む。会社を調査。	
16	期末レポート提出	新聞等を読む。会社を調査。	
	テキスト・参考文献・資料など 原則として毎回資料を配布する(配布しない回もある)。テキストなし。		
	学びの手立て 社会人講師による貴重な講義であることを理解し、真剣に取り組む、記録すること。 資料や記録は大切に保存し、就職活動時に役立ててほしい。 毎回、小レポートを記述し提出すること。		
	評価 平常点(小レポート)20%、レポート(中間レポート・期末レポート)80%。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 「金融論 I・II」「金融投資 I・II」
-------	--------------------------------------

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	沖縄の経済事情 I	後期	水 4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	_沖縄の経済事情 I 教	1 年	yando@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 沖縄県内の金融業界に関する業界研究・業界分析。	メッセージ 金融業界に興味がある学生・就職希望の学生にお勧めします。 履修登録の対象は、全学部1年次以上。定員超過時は抽選。 【実務経験】外部講師(金融系企業の現役社員)が勤務経験に基づき、自社の特徴・具体的業務内容・業界事情等を解説する。
	到達目標 金融業界の動向、金融系企業の業務内容を理解する。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス・銀行業務の基礎知識	基礎知識を理解する
	2	銀行 1	新聞等を読む。会社を調査。
	3	金融業界の基礎知識	基礎知識を理解する
	4	損害保険会社 1	新聞等を読む。会社を調査。
	5	銀行 2	新聞等を読む。会社を調査。
	6	銀行 3	新聞等を読む。会社を調査。
	7	銀行系研究所	新聞等を読む。会社を調査。
	8	銀行 4	新聞等を読む。会社を調査。
9	証券会社・中間レポート提出	新聞等を読む。会社を調査。	
10	保証会社	新聞等を読む。会社を調査。	
11	損害保険会社 2	新聞等を読む。会社を調査。	
12	リース会社	新聞等を読む。会社を調査。	
13	銀行 5	新聞等を読む。会社を調査。	
14	損害保険会社 3	新聞等を読む。会社を調査。	
15	銀行系カード会社	新聞等を読む。会社を調査。	
16	期末レポート提出	新聞等を読む。会社を調査。	
	テキスト・参考文献・資料など 原則として毎回資料を配布する(配布しない回もある)。テキストなし。		
	学びの手立て 社会人講師による貴重な講義であることを理解し、真剣に取り組む、記録すること。 資料や記録は大切に保存し、就職活動時に役立ててほしい。 毎回、小レポートを記述し提出すること。		
	評価 平常点(小レポート) 20%、レポート(中間レポート・期末レポート) 80%。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 「金融論 I・II」「金融投資 I・II」
-------	--------------------------------------

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	政策金融論	後期	火4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大西 公一郎	3年	授業中又は終了後に教室で受け付けますが、Emailも可。k010アットマークokiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 産業の振興や中小企業の育成等、政府が特定の政策目的を達成するために、政策金融機関を通じて財政資金の供給を行う「政策金融」の機能を理解し、沖縄振興における政策課題に対応した「政策金融」の役割について学ぶ。	メッセージ 中央省庁及び地方自治体で地域振興に携わった経験を有する沖縄公庫の現役金融マンが講義を担当します。普段は目につきにくい「縁の下の力持ち」「万が一の助け舟」である公的な金融の役割とともに、沖縄の実体経済や金融に関する最近の動向やニュースについてもトピックスとして適宜解説します。
	到達目標 ・政策金融（財政投融资）の機能を理解できる。 ・沖縄の実体経済・金融構造とその課題を把握できる。 ・沖縄振興策における政策金融の役割を理解できる（政策金融は、税・財政による支援と並ぶ「車の両輪」）。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	シラバスをよく読むこと
	2	市場経済と政府の役割	授業で配布した資料を復習
	3	政策金融（財政投融资）の仕組みと特徴	参考資料①、配布資料の復習
	4	政策金融（財政投融资）の規模の変遷と財投改革	同上
	5	沖縄の実体経済	参考資料②、配布資料の復習
	6	沖縄の金融構造	同上
	7	沖縄公庫の設立経緯と総合政策金融機能	参考資料③、配布資料の復習
	8	沖縄振興政策の課題の変化と公庫の対応	同上
9	観光産業振興と沖縄公庫	同上	
10	創業・ベンチャー支援と沖縄公庫	同上	
11	離島振興・地域活性化と沖縄公庫	同上	
12	駐留軍用地跡地利用と沖縄公庫	同上	
13	政策金融評価の概要	同上	
14	政策金融改革と沖縄公庫	同上	
15	まとめ	授業で配布した資料を復習	
16	レポート提出	授業で配布した資料を復習	
	テキスト・参考文献・資料など		
	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは使用せず、毎回講師が作成したレジュメを配布する。 ・参考資料（講義時に以下の資料を配布） <ol style="list-style-type: none"> ①「財政投融资の概要2022」（財務省刊） ②「沖縄経済ハンドブック2022年度版」（沖縄公庫刊） ③「Report2022」（沖縄公庫ディスクロージャー誌） 		
	学びの手立て		
	<ul style="list-style-type: none"> ・経済も金融も皆さんの身近なものです。日頃から金融・経済関連のニュースに触れるよう心掛けて下さい。 ・「政策」という名の通り、政策金融は金融という手段で社会の課題解決を目指すものです。高失業率や低進学率、交通渋滞や離島苦など沖縄の社会課題を金融でどう改善できるか考えて学びを深めましょう。 ・リアクションペーパーでの質問については、可能な限り次回の講義で解説します。 		
	評価		
	平常点50%：毎回提出するリアクションペーパーや講義での発言により評価します。 レポート50%：講義の理解を問うレポートを期末に求めます（A4用紙で2枚程度）。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 「関連科目」金融論ⅠⅡ、財政学ⅠⅡ、沖縄経済論ⅠⅡ、経済政策総論ⅠⅡ
-------	---

※ポリシーとの関連性 産業及び経済に関する諸課題に対する問題発見力・分析力を高め、
解決力・創造力を養成します。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	沖縄の航空事業と地域振興	前期	水 2	2
	担当者 -名 渡山 秋彦	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1年	講義終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>沖縄県における航空産業は地理的特性から急速に発展してきた。2019年まで観光客の入域が7年連続で記録更新、国際航空貨物基地や航空機整備事業の立ち上げ、フライト&クルーズ構想の港湾整備などを中心とした地域振興策を推進してきたが、課題とコロナ禍での現状を把握し今後を考える。航空産業の学びを通しグローバル・地域の視点で地方創生・地域の活性化を担う人財の育成を目指す。</p>	<p>航空産業の理解を深めつつ地方創生・地域の活性化を担う人財の育成をめざして、沖縄に在る日本トランスオーシャン航空にて航空産業の運営に携わってきた実務経験者が寄附講座として実施するものです。</p>
到達目標	<p>1) 航空産業の基礎的な知識を習得し理解できる (専門性) 2) 航空産業による地域振興をグローバル・地域の視点から捉えられる (地域・国際性) 3) 沖縄における航空による地域振興策や必要な課題を発見し、振興や課題解決に向けて提案をすることができる (コミュニケーション・スキル、問題解決力)</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、イントロダクション	
2	航空事業の現状	WEB公開の授業資料にて学習。	
3	那覇空港の現状と課題	WEB公開の授業資料にて学習。	
4	離島空港を取り巻く現状と課題、空港運営体制	WEB公開の授業資料にて学習。	
5	離島交通政策 (RACの取り組み)	WEB公開の授業資料にて学習。	
6	沖縄の観光戦略	WEB公開の授業資料にて学習。	
7	沖縄の観光インフラ	WEB公開の授業資料にて学習。	
8	航空物流と沖縄	WEB公開の授業資料にて学習。	
9	運航のしくみ (JTA運航乗務員、運航管理者による講義)	WEB公開の授業資料にて学習。	
10	航空の安全・保安・サービス (JTA客室乗務員、JALSAOグランドスタッフによる講義)	WEB公開の授業資料にて学習。	
11	整備事業の展開、航空整備 (JTA航空整備士による講義)	WEB公開の授業資料にて学習。	
12	運貨施策、航空会社を支える IT (JTA運賃担当者、JTIC IT開発者による講義)	WEB公開の授業資料にて学習。	
13	那覇空港見学 (航空事業の現状把握) 又は、ビデオ上演	WEB公開の授業資料にて学習。	
14	那覇空港見学 (航空事業の現状把握) 又は、ビデオ上演	WEB公開の授業資料にて学習。	
15	うちなへの翼・JTAの経営戦略&まとめ	WEB公開の授業資料にて学習。	
16	講義の総括及び期末試験の実施		
	テキスト・参考文献・資料など		
	<p>毎回、パワーポイント資料による講座を進行する。学生がインターネットにより閲覧可能な様にし、振り返りが行える様にす</p> <p>る。</p> <p>日本トランスオーシャン航空 (JTA) ホームページ https://jta-okinawa.com/</p> <p>琉球エアークommunicuter (RAC) ホームページ https://rac-okinawa.com/</p> <p>その他、必要に応じて紹介する。</p>		
	学びの手立て		
	<p>①遅刻、早退、授業中の私語、携帯電話の使用は禁止とします。</p> <p>②講義で使用使用する授業資料等はWeb(沖縄大ポータル)で共有しますので、予習・復習に活用して下さい。</p>		
	評価		
	<p>「評価方法・割合」</p> <p>「期末試験30%、レポート60% (12回)、那覇空港見学レポート10% (1回)」</p> <p>※レポートは、各回の講義内容を理解しているか、課題について自分の考え方を述べられるか等を評価します。</p> <p>※ただし、5回以上欠席した者は試験及び見学会を受けることはできません。</p>		

学びの継続	次のステージ・関連科目 (関連科目) グローバル観光ビジネス、観光マーケティング
-------	---

※ポリシーとの関連性 産業及び経済に関する諸課題に対する問題発見力・分析力を高め、
解決力・創造力を養成します。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	沖縄の航空事業と地域振興	後期	水 2	2
	担当者 -名 渡山 秋彦	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1年	講義終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>沖縄県における航空産業は地理的特性から急速に発展してきた。2019年まで観光客の入域が7年連続で記録更新、国際航空貨物基地や航空機整備事業の立ち上げ、フライト&クルーズ構想の港湾整備などを中心とした地域振興策を推進してきたが、課題とコロナ禍での現状を把握し今後を考える。航空産業の学びを通しグローバル・地域の視点で地方創生・地域の活性化を担う人財の育成を目指す。</p>	<p>航空産業の理解を深めつつ地方創生・地域の活性化を担う人財の育成をめざして、沖縄に在る日本トランスオーシャン航空にて航空産業の運営に携わってきた実務経験者が寄附講座として実施するものです。</p>
到達目標	<p>1) 航空産業の基礎的な知識を習得し理解できる (専門性) 2) 航空産業による地域振興をグローバル・地域の視点から捉えられる (地域・国際性) 3) 沖縄における航空による地域振興策や必要な課題を発見し、振興や課題解決に向けて提案をすることができる (コミュニケーション・スキル、問題解決力)</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、イントロダクション	
	2	航空事業の現状	WEB公開の授業資料にて学習
	3	那覇空港の現状と課題	WEB公開の授業資料にて学習
	4	離島空港を取り巻く現状と課題、空港運営体制	WEB公開の授業資料にて学習
	5	離島交通政策 (RACの取り組み)	WEB公開の授業資料にて学習
	6	沖縄の観光戦略	WEB公開の授業資料にて学習
	7	沖縄の観光インフラ	WEB公開の授業資料にて学習
	8	航空物流と沖縄	WEB公開の授業資料にて学習
	9	運航のしくみ (JTA運航乗務員、運航管理者による講義)	WEB公開の授業資料にて学習
	10	航空の安全・保安・サービス (JTA客室乗務員、JALSAOグランドスタッフによる講義)	WEB公開の授業資料にて学習
	11	整備事業の展開、航空整備 (JTA航空整備士による講義)	WEB公開の授業資料にて学習
	12	航空会社を支えるIT、運賃施策 (JTA運賃担当者、JTIC IT開発者による講義)	WEB公開の授業資料にて学習
	13	那覇空港見学 (航空事業の現状把握) 又は、ビデオ上演	WEB公開の授業資料にて学習
	14	那覇空港見学 (航空事業の現状把握) 又は、ビデオ上演	WEB公開の授業資料にて学習
15	うちなへの翼・JTAの経営戦略&まとめ	WEB公開の授業資料にて学習	
16	期末試験		

テキスト・参考文献・資料など

毎回、パワーポイント資料による講座を進行する。学生がインターネットにより閲覧可能な様にし、振り返りが行える様にする。

日本トランスオーシャン航空 (JTA) ホームページ <https://jta-okinawa.com/>
 琉球エアコミューター (RAC) ホームページ <https://rac-okinawa.com/>
 その他、必要に応じて紹介する。

学びの手立て

①遅刻、早退、授業中の私語、携帯電話の使用は禁止とします。
 ②講義で使用する授業資料等はWeb(沖縄大ポータル)で共有しますので、予習・復習に活用して下さい。

評価

「評価方法・割合」
 「期末試験30%、レポート60% (12回)、那覇空港見学レポート10% (1回)」
 ※レポートは、各回の講義内容を理解しているか、課題について自分の考え方を述べられるか等を評価します。
 ※ただし、5回以上欠席した者は試験及び見学会を受けることはできません。

学びの継続

次のステージ・関連科目
 (関連科目) グローバル観光ビジネス、観光マーケティング

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	沖縄ジャーナリズム論	後期	金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	沖縄ジャーナリズム論教員	1年	初回にアナウンスを行う。質問については各回の授業後に受け付ける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>沖縄の現在社会を知る上で必須の時事問題を中心に、沖縄ジャーナリズムの歩み、米軍基地問題、沖縄戦などを現役のデスク、記者、論説委員が解説する。報道を通して、ニュースの読み方、現代沖縄の問題を多様な視点から考える姿勢を学ぶ。</p>	<p>沖縄タイムスの一線で活躍する記者、日々の紙面づくりに取り組むデスクが、米軍基地問題から社会福祉まで幅広い視点で現代沖縄を解説します。ニュース一般の読み解き方も紹介します。</p>
到達目標	<p>報道の現場の一線で活躍する記者の解説を通して、現代沖縄の社会を知るため、ニュースがつくりだされる過程から、その情報の読み解き方までを学ぶ。多様な視点から考える態度を習得する。</p>	

学びの実践	<p>学びのヒント</p> <p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>時間外学習の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>講義内容紹介と登録(吉田央)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>2</td><td>知事選取材を振り返る(山城響)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>3</td><td>沖縄県知事の役割(大野亨恭)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>4</td><td>沖縄経済の現状と展望(石川亮太)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>5</td><td>事件から見つめた沖縄社会(比嘉太一)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>6</td><td>地域報道の醍醐味(伊集竜太郎)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>7</td><td>沖縄ヘイトと向き合う(阿部岳)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>8</td><td>戦争体験をつなぐ(當銘悠)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>9</td><td>学びはだれのもの一校則問題から考える(鈴木実)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>10</td><td>シャッターチャンスを見逃さない(下地広也)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>11</td><td>社説から読み解く沖縄社会(森田美奈子)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>12</td><td>NIEで学ぶ新聞の読み方(高崎園子)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>13</td><td>復帰50年を考えた(福元大輔)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>14</td><td>心をつかむ整理術(大門雅子)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>15</td><td>女性記者として(黒島美奈子)</td><td>新聞を毎日読むこと</td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	回	テーマ	時間外学習の内容	1	講義内容紹介と登録(吉田央)	新聞を毎日読むこと	2	知事選取材を振り返る(山城響)	新聞を毎日読むこと	3	沖縄県知事の役割(大野亨恭)	新聞を毎日読むこと	4	沖縄経済の現状と展望(石川亮太)	新聞を毎日読むこと	5	事件から見つめた沖縄社会(比嘉太一)	新聞を毎日読むこと	6	地域報道の醍醐味(伊集竜太郎)	新聞を毎日読むこと	7	沖縄ヘイトと向き合う(阿部岳)	新聞を毎日読むこと	8	戦争体験をつなぐ(當銘悠)	新聞を毎日読むこと	9	学びはだれのもの一校則問題から考える(鈴木実)	新聞を毎日読むこと	10	シャッターチャンスを見逃さない(下地広也)	新聞を毎日読むこと	11	社説から読み解く沖縄社会(森田美奈子)	新聞を毎日読むこと	12	NIEで学ぶ新聞の読み方(高崎園子)	新聞を毎日読むこと	13	復帰50年を考えた(福元大輔)	新聞を毎日読むこと	14	心をつかむ整理術(大門雅子)	新聞を毎日読むこと	15	女性記者として(黒島美奈子)	新聞を毎日読むこと	16		
	回	テーマ	時間外学習の内容																																																	
	1	講義内容紹介と登録(吉田央)	新聞を毎日読むこと																																																	
	2	知事選取材を振り返る(山城響)	新聞を毎日読むこと																																																	
3	沖縄県知事の役割(大野亨恭)	新聞を毎日読むこと																																																		
4	沖縄経済の現状と展望(石川亮太)	新聞を毎日読むこと																																																		
5	事件から見つめた沖縄社会(比嘉太一)	新聞を毎日読むこと																																																		
6	地域報道の醍醐味(伊集竜太郎)	新聞を毎日読むこと																																																		
7	沖縄ヘイトと向き合う(阿部岳)	新聞を毎日読むこと																																																		
8	戦争体験をつなぐ(當銘悠)	新聞を毎日読むこと																																																		
9	学びはだれのもの一校則問題から考える(鈴木実)	新聞を毎日読むこと																																																		
10	シャッターチャンスを見逃さない(下地広也)	新聞を毎日読むこと																																																		
11	社説から読み解く沖縄社会(森田美奈子)	新聞を毎日読むこと																																																		
12	NIEで学ぶ新聞の読み方(高崎園子)	新聞を毎日読むこと																																																		
13	復帰50年を考えた(福元大輔)	新聞を毎日読むこと																																																		
14	心をつかむ整理術(大門雅子)	新聞を毎日読むこと																																																		
15	女性記者として(黒島美奈子)	新聞を毎日読むこと																																																		
16																																																				
<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>適宜レジュメを配布する</p>																																																				
<p>学びの手立て</p> <p>講義では時事問題に毎回言及します。そのため事前の1週間の新聞を読んで講義に参加することが求められます。ネットニュースの形ではなく、紙の新聞を1面から社会面までを通して読む習慣を身につけて下さい。朝刊には新書1冊分の活字が記載されています。その中から必要なニュースを自在に読むことが出来る力を身につけることは、社会人としても必要なスキルです。特に地域紙は地域の問題に密着し、政治、経済、社会と学生のみなさんが住んでいる地域の視点からニュースを発信します。地域紙と全国紙を読むことを、大学生のころから心掛けてほしいと思います。</p>																																																				
<p>評価</p> <p>参加態度50% 論文50%</p>																																																				

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>社会・平和領域の選択科目</p>
-------	--